

サポートブログ過去掲載記事

[20180123] そうだ、グラフィックボードを増設しよう！ でも、その前に... rev.2

そうだ、グラフィックボードを増設しよう！でも、その前に... rev.2

こちらの記事は2015年8月25日掲載「そうだ、グラフィックボードを増設しよう！でも、その前に...」を改訂したものです。

5～6年前のパソコンのグラフィックボードが壊れてしまった等の事情でグラフィックボードを交換交換した際に、グラフィックボードを交換しても正常に動作しないという場合があります。

最新のグラフィックボードを増設しようとしているパソコンやマザーボードが**2012年頃に購入している製品の場合は注意が必要です。**
この場合、ある世代以降のグラフィックボードが使用できない可能性があります。

具体的には下記の様な症状が発生します。

- 「画面が全く映らない」
- 「BIOSメニューには入れるがOSの起動には至らない」
- 「電源を入れ、メーカーのロゴが表示されたまま先に進まない」
- 「画面左上でアンダーバーが点滅表示されたまま先に進まない」

この問題はマザーボードとグラフィックボードの**双方のBIOSに起因しています。**「Fast Boot(ファストブート)」や「Secure Boot(セキュアブート)」といった**新しい機能に対応**していくために、グラフィックボードのBIOSが「UEFI」方式へと切り替わって移行が進んでいます。
このUEFI方式のBIOSを搭載したグラフィックボードと、2012年頃に販売されていたパソコンやマザーボードとの組み合わせで多数の不具合報告が上がっています。

特に症例報告が多いマザーボード(チップセット)

Intel P67・Z68などの60番台およびIntel

H77・Z77・X79など70番台チップセットを搭載しているマザーボード

グラフィックボードのUEFIへの移行状況

NVIDIA GeForce：600シリーズ後期生産品、700シリーズ以降(TITANシリーズも含む)

NVIDIA Quadro:Kシリーズ以降(Mシリーズ、Pシリーズも含む)

AMD Radeon：R9/R7/R5シリーズ以降(RXシリーズ、Vegaシリーズも含む)

これより前の世代のグラフィックボードでも、UEFI化されている製品もあります。パッケージに「Windows 8 Ready」と記載されているグラフィックボードは、UEFIになっている可能性が大きいです。

もし不具合が出たら...?

マザーボードのBIOSの設定変更(Secure Bootの無効化、レガシーサポートの有効化)やBIOSの更新(アップデート)で解決するケースもありますが、**マザーボード側にそういった設定項目が無かったり、更新用のBIOS自体が提供されていない場**

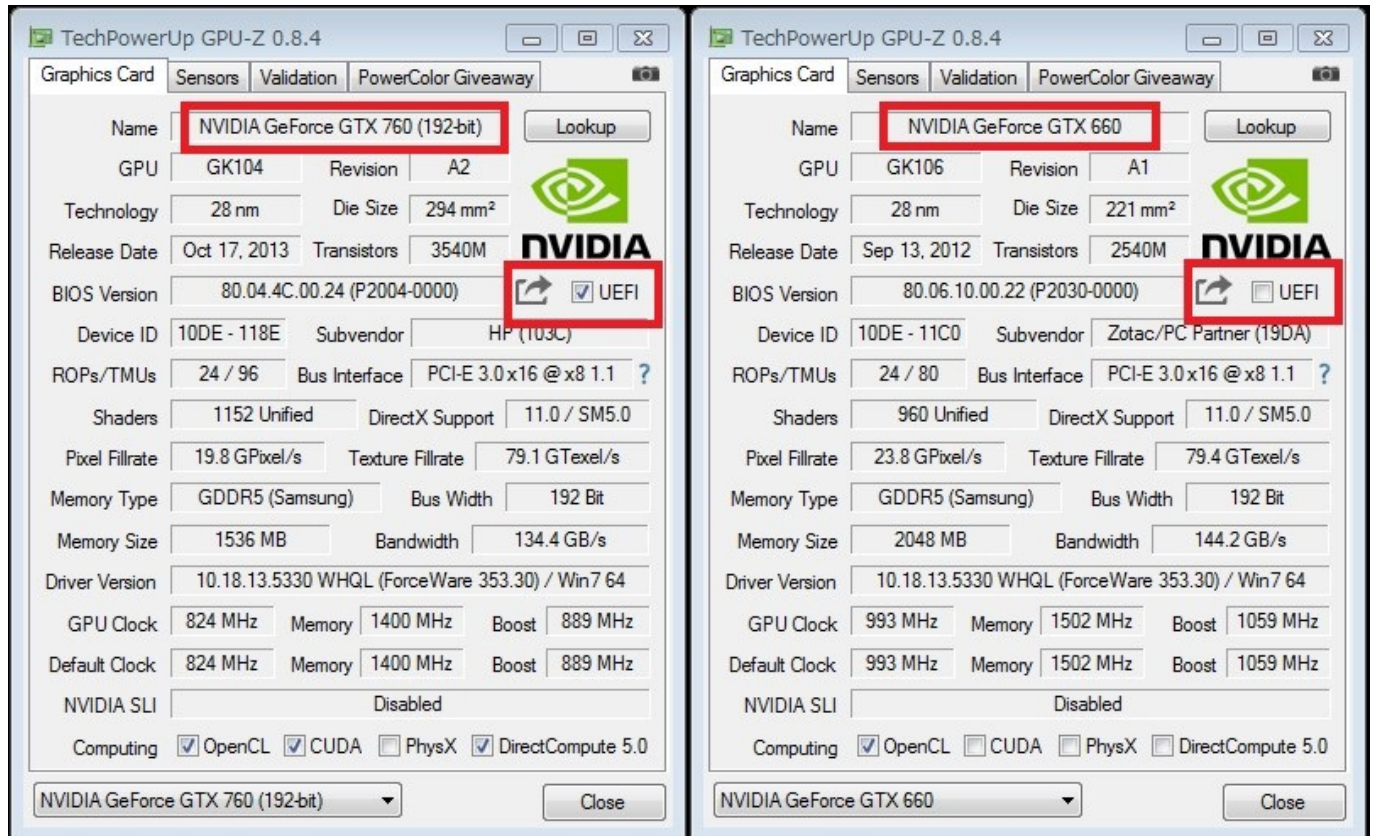
サポートブログ過去掲載記事

合は**解決不能**となります。その場合には、BIOSがUEFIになっていないグラフィックボードを探すか、マザーボードの交換が必要です。

これからのご購入を検討されている場合には、ご購入の前にツクモ各店のグラフィックボードの販売フロアにてご相談ください。

【参考】GPU-Zでの表示の違い

下記の画像左側のグラフィックボードはBIOSがUEFIになっているためチェックがついていますが、右側のグラフィックボードはUEFIになっていないためチェックがついていません。左側のBIOSの更新日付は2013年10月、右側のBIOSの更新日付は2012年9月となっています。



一意的なソリューション ID: #1264

製作者: k.kogawa

最終更新: 2018-11-07 11:44